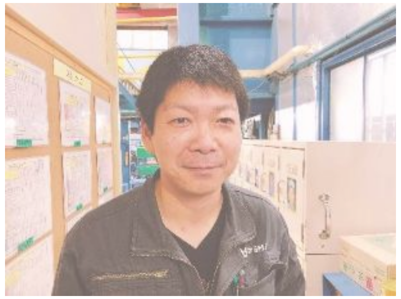


2017年度　環境活動レポート

株式会社山田製作所

49期:2017.02～2018.01

作成：2018.06.16 ／ 更新：2018.06.16

::: ごあいさつ :::

経営環境は良くなっています。その経営環境下で地球温暖化対策に向けてどう活動をしていくのか。ものづくり企業としていつもいつも考えます。
品質管理の追求、生産性の向上がやはりその活動の中心になっていくと確信します。
当社の特徴である徹底した3S活動をさらに進化させて環境課題に貢献していきます。

€ 株式会社山田製作所

代表取締役社長 山田 太

::: 環境方針 :::

[環境方針]

当社理念に謳っている「感謝の誠心」の意味の中に“自然に感謝”がある。
この理念を追求するために、全ての事業活動において地域環境・地球環境に感謝し、
そして保全活動を自主的・積極的に追求する。

[環境行動]

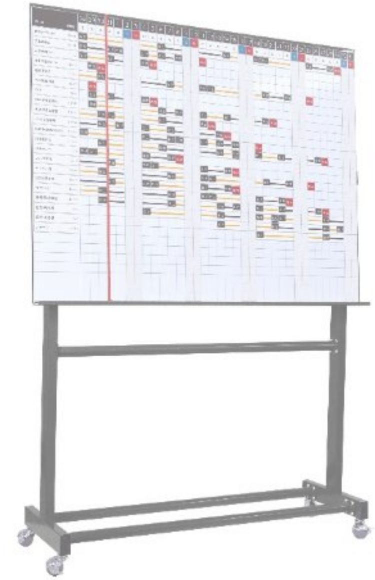
（1）地球温暖化物質の削減
（2）資源の有効利用
（3）廃棄物の削減
（4）環境関連法規の遵守
（5）EA21EMSの継続的改善
（6）原料及び事務用品のグリーン購入
（7）環境に配慮した製品の販売

[明るい宣言]

私達は、日本一明るい「共に育ちあう」企業をつくります。

制定日：2005年6月12日／改定日：2015年6月26日　　代表取締役社長

::: 組織の概要 :::



［ 名称及び代表者名 ］

株式会社山田製作所
代表取締役社長　山田 茂

［所在地及び連絡先 ］

〒574-0056　大阪府大東市新田中町2-41
TEL：072-871-0095 ／ FAX：072-871-3103
Mail：info@yamada-ss.co.jp
URL：http://www.yamada-ss.co.jp/

［環境管理責任者氏名及び担当者 ］

環境管理責任者：大西　健治
環境事務局：冨尾　美結

［事業内容 ］

製缶・板金製品の製造、産業用設備の設計及び製作

［事業の規模 ］

社員数：16名 ／ 延べ床面積：740㎡
売上高：2.5億円

［事業年度 ］

2月～1月

［認証範囲 ］

全社全活動

どんな会社？

- 産業用機械メーカーや製品製造メーカーの工場から依頼を受けて産業用機械部品や装置をつくっている会社です

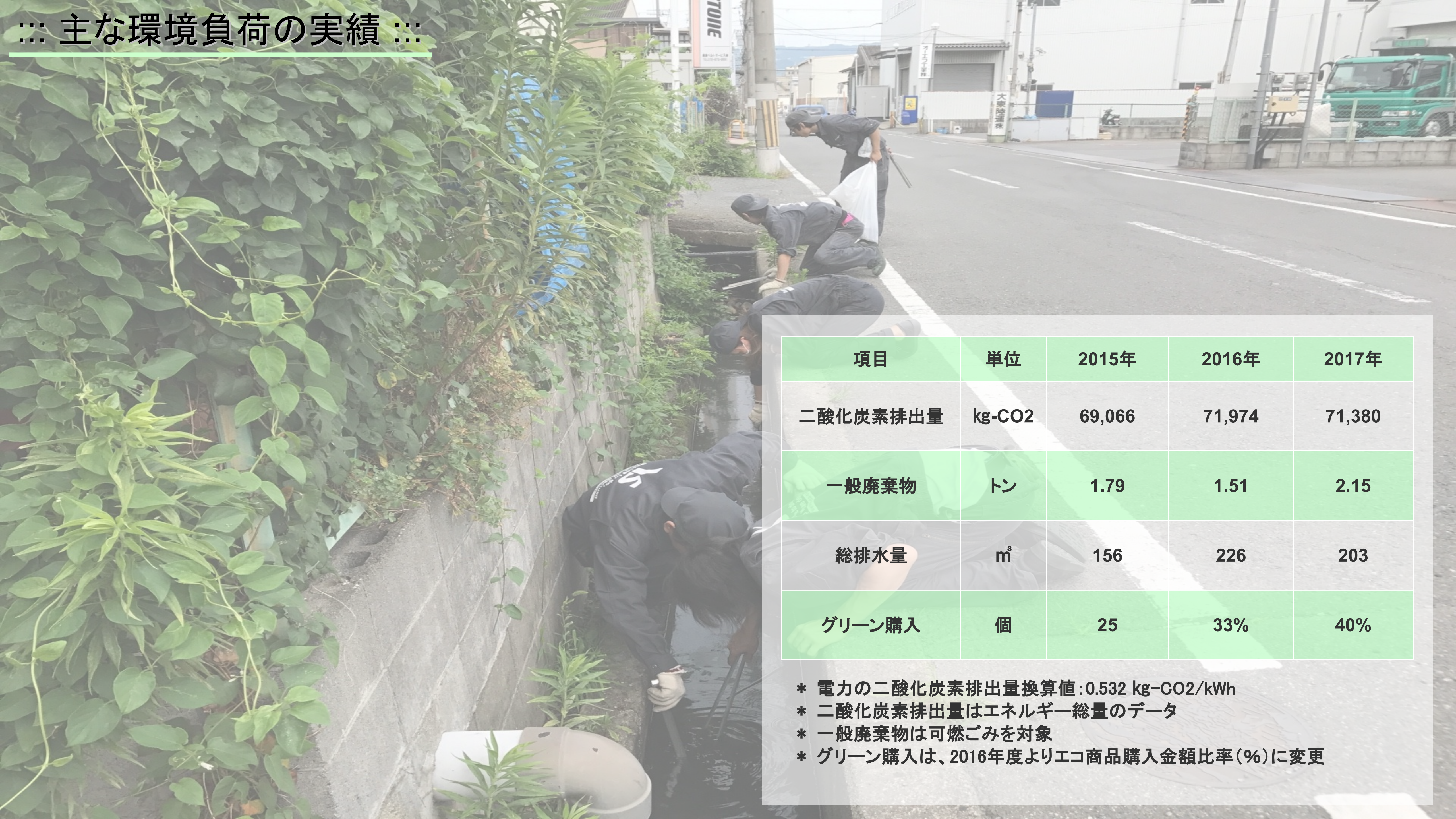
- どんな産業機械？

例えば、

- アップル社のiphonやipadの液晶画面に張られている光学フィルムをつくる装置や、電気自動車のリチュウム
  イオンバッテリーの電極（フィルム）をつくる装置
- ジェネリック薬品をつくる装置
- 化粧品をつくる工程でかき混ぜる装置など･･･です。

表彰・資格・認定

- ISO-9001認証取得　2002年6月
- 経営革新支援法認定　2004年9月
- エコアクション21認証取得　2005年10月
- 大阪府品質管理推進優良企業表彰　2006年3月
- 大阪府ものつくり優良企業表彰　2009年3月
- 関西ものづくり優良企業100選認定　2009年3月
- 経済産業省 元気なモノつくり企業300社表彰　2009年4月
- 大阪府中小企業家同友会 経営品質大賞受賞　2009年4月
- 関西ＩＴ百撰入選　2010年10月
- キャリア支援企業表彰中央職業能力開発協会長奨励賞　2012年12月
- （社）日本設備管理学会 ものづくり大賞受賞　2014年5月
- 大阪府男女いきいき元気宣言事業者採択　2014年12月



::: 主な環境負荷の実績 :::

項目	単位	2015年	2016年	2017年
二酸化炭素排出量	kg-CO2	69,066	71,974	71,380
一般廃棄物	トン	1.79	1.51	2.15
総排水量	m^3	156	226	203
グリーン購入	個	25	33%	40%

＊ 電力の二酸化炭素排出量換算値：0.532 kg-CO2/kWh
＊ 二酸化炭素排出量はエネルギー総量のデータ
＊ 一般廃棄物は可燃ごみを対象
＊ グリーン購入は、2016年度よりエコ商品購入金額比率（%）に変更

::: 環境目標及びその実績 :::

項目 / 年度	基準年	2017年		2018年	2019年
	基準値	目標	実績	目標	目標
電力(kg-CO2)	2015年 43,863	41,670	50,620	41,670	41,670
自動車燃料(kg-CO2)	2015年 18,919	18,919	18,469	18,919	18,919
一般廃棄物(t)	2015年 1.66	1.57	2.15	1.33	1.16
総排水量(㎥)	2015年 159	159	203	159	159
グリーン購入(個)	— 30%	30%	40%	30%	30%
エコポイント(ポイント)	—	240	190	240	240

＊ 電力の二酸化炭素排出量換算値:0.355 kg−CO2/kWh
＊ 電力はエアコンを導入した2008年を基準年度とする
＊ 可燃ゴミの質量計算は10kg/袋を実質量として計算する
＊ 灯油は負荷が少ないため目標としない
＊ 事業活動に伴う産業廃棄物の発生は金属スクラップ:売却、木材パレット:材料メーカへ返却
＊ 廃プラスチック:少量のため一般廃棄物に含む

::: 環境活動計画及び取組結果とその評価・次年度の取組内容 :::

取り組み計画	達成状況（基準年度比）		評価（結果と今後の方向）
[電力の削減]	基準年度（2015年）		≪ 目標 達成・未達成 ≫
・不要照明の消灯 ・クールビズ運動 ・設備の空運転防止 ・工程ロス削減による稼働時間短縮 ・エアコン使用ルールの徹底 ・水銀灯変更時、メタルハライド型を採用 ・レイアウト変更 ・電灯類の節電表示、標識 ・徹底した3S	43,863	kg-CO2	・目標対比：+21.5%（+8,950kg-CO2増） ・契約デマンド値：66→66kW 使用電力量（昨年対比：92,149→95,151kWh エアコンを使う機会が多かったため、目標を超えてしまいましたが、水銀灯からLEDに総入れ替えを行ったので、次年度の使用電力の削減に期待すると共に、目標デマンドを意識していきます。 ・次年度削減率は、現状維持とします。
	目標		
	41,670	kg-CO2	
	実績		
	50,620	kg-CO2	
	削減率		
	+21.5	%超過	
[自動車燃料の削減]	基準年度（2015年）		≪ 目標 達成・未達成 ≫
・アイドリングストップ ・急加速、急停車の防止 ・冷暖房の控え目使用 ・燃費の良い車の購入（更新時） 徹底した3S	18,919	kg-CO2	・目標対比：-2.4%（450 kg-CO2減） ・累計の限度目標を2.4%下回ることが出来ました 自動者燃料に関しては移動距離が延びると比例して多くなってしまいます。使用料の監視から燃費への切り替えを検討していくことも必要と感じます ・次年度削減率は、現状維持とします
	目標		
	18,919	kg-CO2	
	実績		
	18,469	kg-CO2	
	削減率		
	-2.4%	%削減	

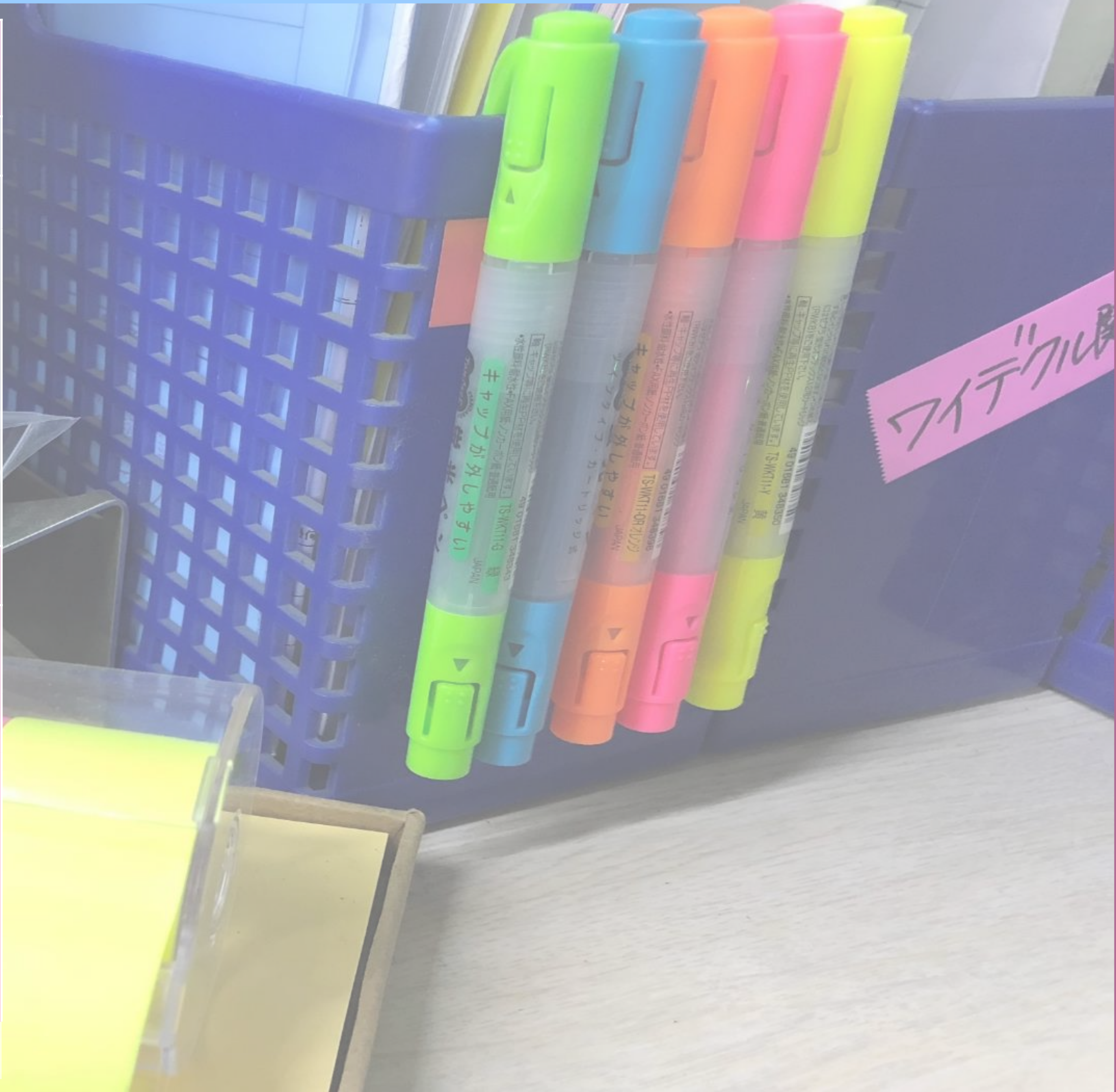
::: 環境活動計画及び取組結果とその評価・次年度の取組内容 :::

取り組み計画	達成状況（基準年度比）		評価（結果と今後の方向）
[一般廃棄物の削減]	基準年度（2015年）		≪ 目標 達成・未達成 ≫ (未達成 circled)
・裏紙使用 ・ミスコピーの防止 ・分別による古紙のリサイクル化 ・帳票見直しによる印刷物の削減 ・両面印刷 ・徹底した3S	1,656	kg	・目標の1,656Kgに対し約1.3倍の2,150Kgでした 仕事量と比例しゴミが増えますが意識してゴミが出ない取組をしています。 ・次年度削減率は、現状維持とします
	目標		
	1,656	kg	
	実績		
	2,150	kg	
	削減率		
	+29.8	%超過	
[水道水の削減]	基準年度（2015年）		≪ 目標 達成・未達成 ≫ (未達成 circled)
・節水呼びかけ ・節水弁の取付け ・節水を促す掲示物の貼り付け ・徹底した3S	159	㎥	・目標対比：+27.7%（+44㎥増） ・6月～9月にかけて大幅に目標値を超えてしまいました。節水を全員で心掛けていきます。 ・次年度削減率は、現状維持とします
	目標		
	159	㎥	
	実績		
	203	㎥	
	削減率		
	+27.7	%超過	

::: 環境活動計画及び取組結果とその評価・次年度の取組内容 :::

取り組み計画	達成状況（基準年度比）		評価（結果と今後の方向）
[グリーン購入]	目標		≪ 目標 **達成**・ 未達成 ≫
・現在、購入しているグリーン商品と別に新たにグリーン購入に変更していく ・事務用品、家電、車両など会社で使用する物をグリーンにしていく 集計方法は、グリーン商品購入金額／購入総額にて購入金額の率で表す	30 実績 40	% %	・目標対比：+10% ・文具類のグリーン購入は進んでいます。現場で使用する消耗品や工具類も見直していきましょう。 ・次年度購入目標は現状維持とする。
[エコポイント]	目標		≪ 目標 達成・ **未達成** ≫
・YMS会議での検討 ・3S改善提案の中で環境活動に関するものをエコポイントとしてカウントする ・外部へのPR（見学会、ブログ等） ・徹底した3S	240 実績 190	ポイント ポイント	・目標対比：-20.8%（-50ポイント） ・エコポイントを加算式に変更しました。全体的にエコに関して意識していく必要がある。 ・次年度目標を240ポイントとします。

＊ 以上の6項目は、次年度も継続して取り組む



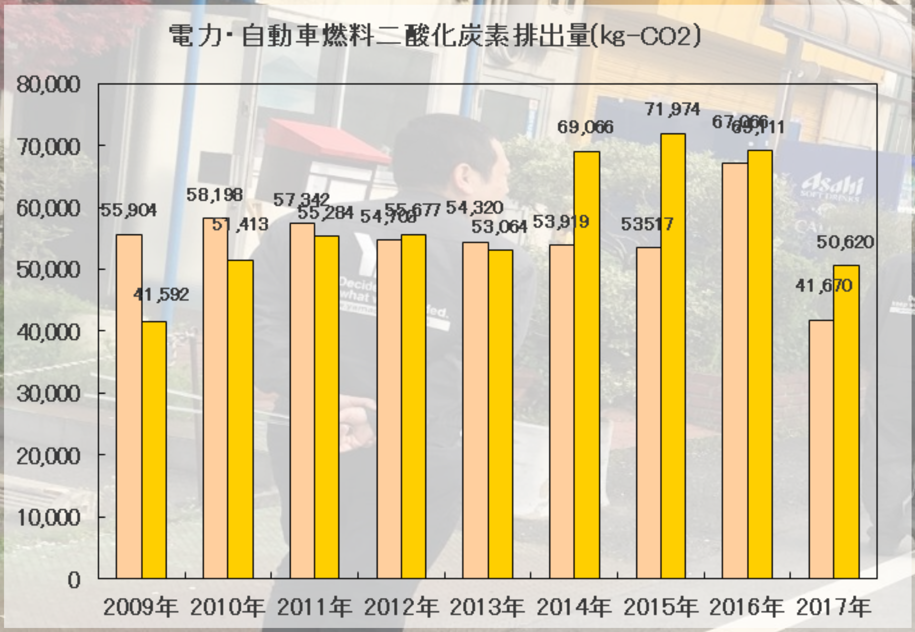
::: 環境関連法規制等の遵守状況 :::

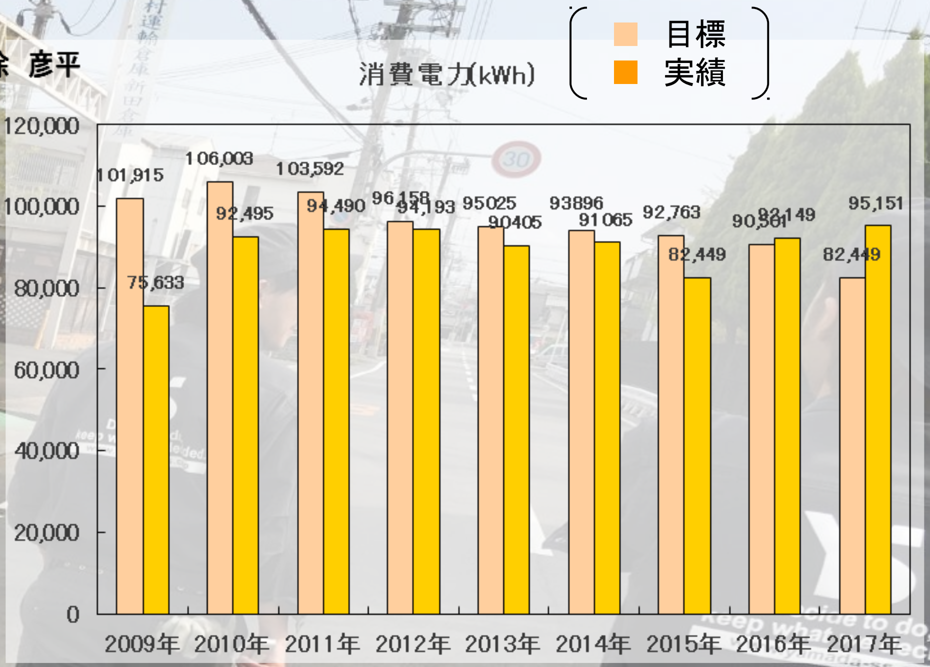
法規制等の名称	該当する施設等	関連条例による規制	環境関連法規制への違反、訴訟の有無
廃棄物処理法	一般廃棄物 （紙･木くず･生ごみ等）	12条3項 規則8条の2	無
騒音･振動規制法	空気圧縮機（5.5kW 1台） せん断機（11kW 1台）	大阪府条例	無
水質汚濁法	塗料置場潤滑油置場 灯油置場	—	無
フロン排出抑制法	業務用空調機	—	無
高圧ガス保安法	ボンベ類の転倒防止 40℃以下、警戒標など	—	無
自動車リサイクル法	自動車	—	無
消防法	シンナー　20ℓ 灯油　100ℓ以下	市町村火災予防条例	無
大阪府生活環境の保全等に関する条例	軽四輪を除く商業ナンバー（4ナンバー）車	大阪府が交付する適合車等、標章の表示	無

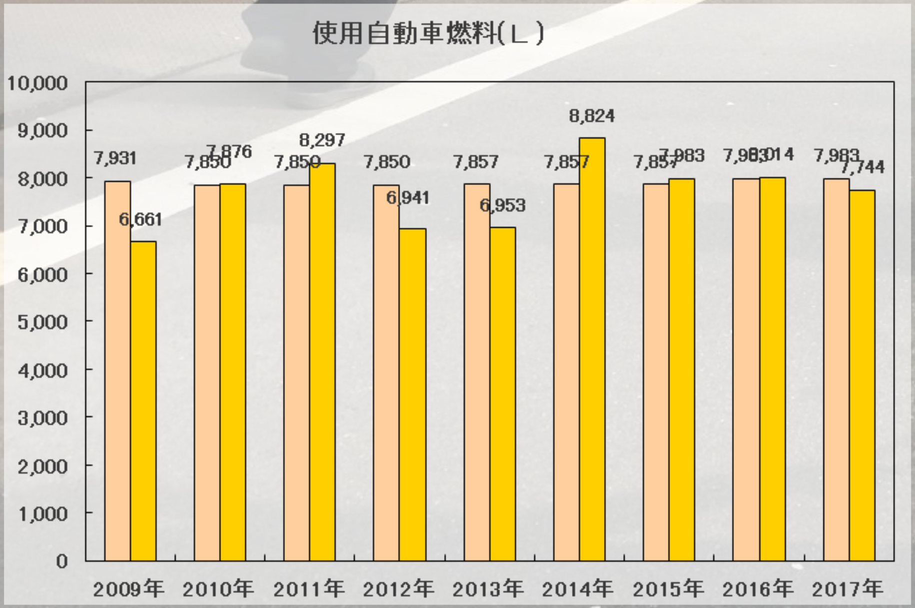
☑ 環境関連法規制等の遵守状況の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。
また、過去3年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

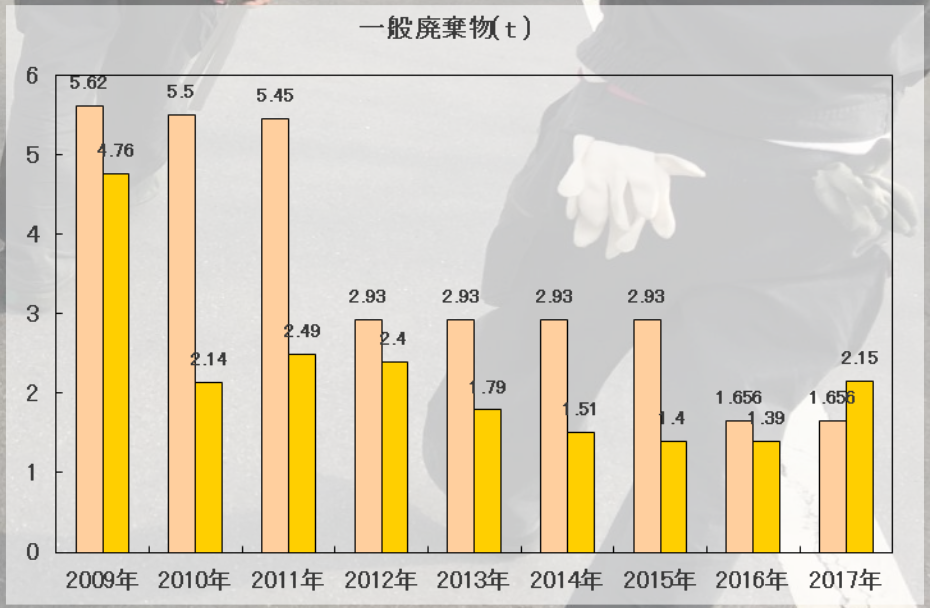
::: 年度目標と実績推移表 :::

徐 彦平

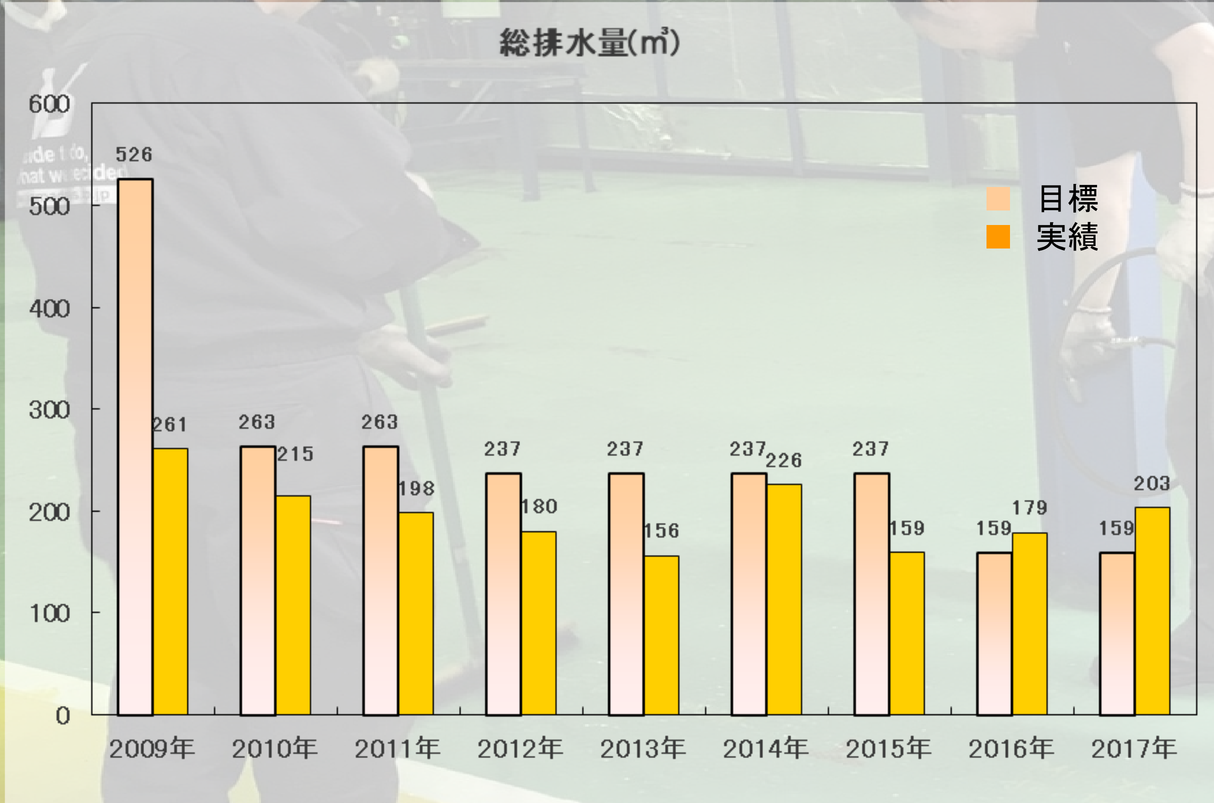








::: 年度目標と実績推移表 :::



総排水量(㎥)
600
500
400
300
200
100
0
目標
実績
526
261
263
215
263
198
237
180
237
156
237
226
237
159
159
179
159
203
2009年
2010年
2011年
2012年
2013年
2014年
2015年
2016年
2017年

::: 代表者による全体の評価と見直し :::

当社は日頃の徹底した3S活動を通じて環境活動をおこなっています。
その活動は社外からも評価を得て多くの見学者が訪れてくださることに喜びを感じています。しかし、環境活動が全社員の力強い活動になっているとはまだまだ言えません。
この4月には新卒社員が2名が入社してきます。エコアクションの意義をしっかり指導していかねばなりません。学び合い共に育ちあう社風づくりを環境活動を通じても実践していきましょう。
そして遅くなりましたが、工場の水銀灯と常灯の蛍光灯などをLED照明に交換を計画しています。とても楽しみです。
2018年度は、設立50周年に向けてのキックオフ年度でもあります。来年2019年7月31日の50周年を皆の活動で明るく迎えましょう。
次年度は設立50期の節目に当たるため、環境目標の基準を今年度として、さらに環境負荷削減に貢献していきたいと思っています。

€ 株式会社山田製作所

代表取締役社長

::: 2017年度環境活動の紹介 :::

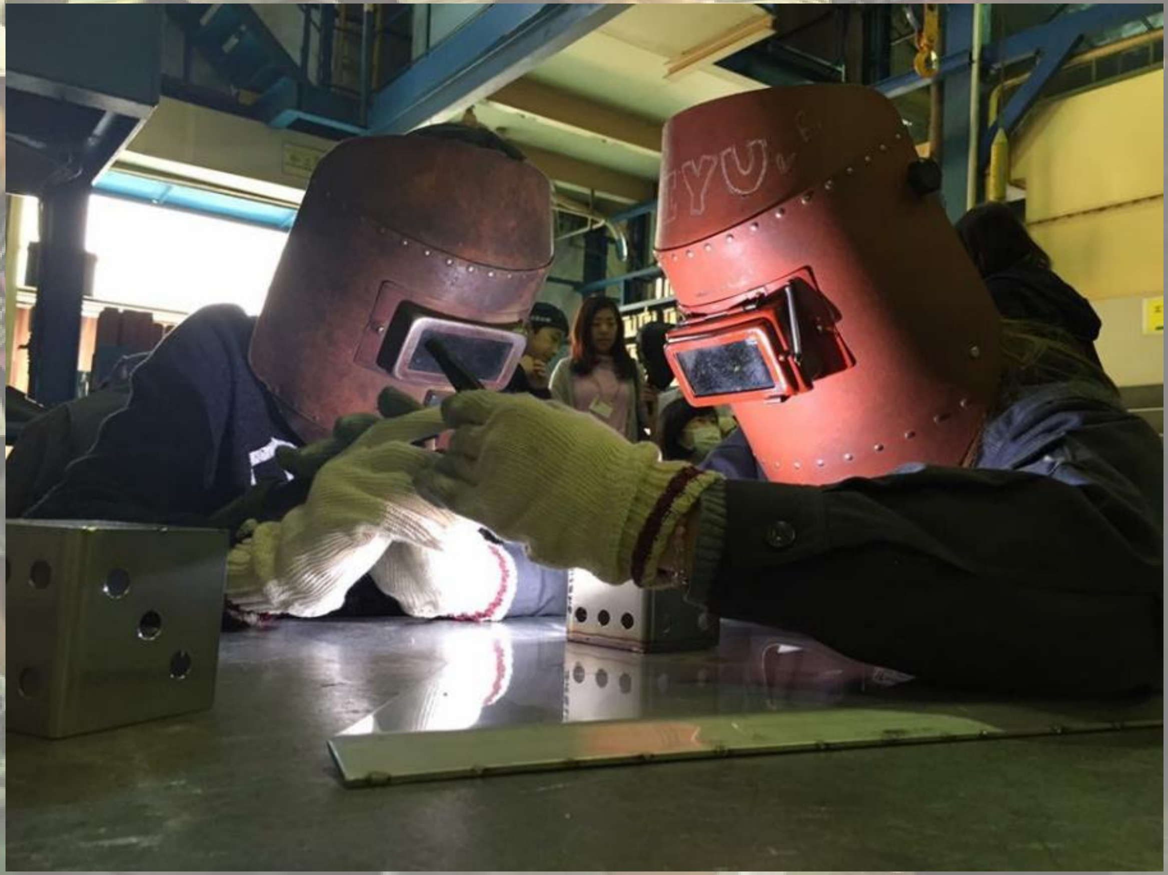
2017年11月4日に全社員参加の
消防・救命訓練を行ないました。

毎年地元の消防署から隊員の方々に来ていただき、
・通報訓練・避難訓練・消火訓練そして蘇生訓練とAEDの使用訓練をおこなっています
蘇生に関する訓練内容は年々変わっています。
実際にその場面になったときに自然と身体が動くように訓練は重要です。

::: 2017年度環境活動の紹介 :::

“地域の小学生にものづくり教室”

地元大東市の小学生が今年も来てくれました
機械の説明や、ものづくりの仕事内容を案内したあと、
お楽しみの溶接体験です。
ステンレスの板でサイコロ型貯金箱をつくってもらいます。
材料を無駄に使わないなど良いものをつくる過程は環境に
やさしいことなども説明していきます。
企画は若手社員が中心となって進めています^^



::: 環境活動の紹介 ::: 会社見学受け入れ

::: 2017年度トピックスの紹介 :::

山田製作所には、日本はもちろん海外からも
たくさんの見学者が訪れます。

2017年の見学会には、183社
海外からは、15ヶ国の方々が来社されました。

今まで世界の56カ国以上から見学に来ていただいています。

全員で守ること を決めて、

全員で決めた ことを守る

ご覧いただき、ありがとうございました。
来期も"徹底した3S"と共に環境活動に取り組みます。